

第1学年 美術科 年間指導計画 評価計画

1 教科の目標

(1) 自然や身のまわりのものの美しさやよさに目を向け、表現方法や素材などに興味を持つ (2) 具体的な技法の習得により、描写力や表現力の基礎を身につけ、意欲をもって制作ができるようにする (3) 夢や目標を持って、構想をし、手順を考え、根気強く取り組み、創作活動の楽しさを味わうことができる (4) 集中して観察する態度を身につけ、深くものを見つめたり考えたりできるようにする (5) 鑑賞の喜びを一層豊かに育てるために、自分の想いを言葉で表現したり、語り合ったり、批評しあったりできる
--

2 評価の観点・規準・材料

評価の観点	評価項目 (評価規準)	評価材料・評価場面
I 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 様々な作品や文化、友達作品について、そのよさを味わおうとしているか 各課題の目指すものを理解し、素材や表現方法の特質を活かした発想、構想ができるか 道具の使用法や材料の特性を理解し、基礎的な技法を身につけ、根気強く丁寧に作業に取り組むことができるか 色や形の持つ効果を踏まえ、作品の完成に向け創意工夫することができるか 感じたことを、自分の言葉で具体的に表現し、他に伝えることができるか 	授業への取り組み 授業準備 資料集め 作品提出 レポート 定期考査
II 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に表現や技法の習得に取り組んでいるか、また楽しく生き生きと表現しているか 様々な作品や文化、友達作品について、そのよさを味わおうとしているか 作品の提出期限を考えながら効率よく作業しているか 各課題の目指すものを理解し、素材や表現方法の特質を活かした発想、構想ができるか 色や形の持つ効果を踏まえ、作品の完成に向け創意工夫することができるか いろいろな作品や身のまわりのものを注意深く観察し、そのよさや美しさを感じ取ることができるか 感じたことを、自分の言葉で具体的に表現し、他に伝えることができるか 	授業への取り組み 授業準備 資料集め 作品提出 レポート 定期考査
III 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に表現や技法の習得に取り組んでいるか、また楽しく生き生きと表現しているか 様々な作品や文化、友達作品について、そのよさを味わおうとしているか 授業の準備や心構えができているか、作品を期限内に提出しているか 色や形の持つ効果を踏まえ、作品の完成に向け創意工夫することができるか いろいろな作品や身のまわりのものを注意深く観察し、そのよさや美しさを感じ取ることができるか 	授業への取り組み 授業準備 資料集め 作品提出 レポート 定期考査

3 年間指導計画

学期	月	単元
一学期	4月	オリエンテーション レタリング レタリングの基本と応用
	5月	オリエンテーション レタリング レタリングの基本と応用
	6月	色の整理 I 絵文字 有彩色と無彩色 レタリングを使って、文字と言葉のイメージを表現する 色の三要素 ポスターカラーによる着彩 色相環
	7月	絵文字 レタリングを使って、文字と言葉のイメージを表現する ポスターカラーによる着彩 ピカソについて調べる (宿題)
二学期	9月	塑像 食パンアート 紙粘土によるリアル食品サンプルの制作
	10月	塑像 食パンアート 紙粘土によるリアル食品サンプルの制作
	11月	模写 ピカソの模写 ピカソについて学び、制作方法や混色を学ぶ
	12月	模写 ピカソの模写 ピカソについて学び、制作方法や混色を学ぶ
三期	1月 2月	工芸 堆朱はしの制作 工芸を学び、やすったり磨いたりする工程を学ぶ

	2月 3月	工芸 堆朱はしの制作&まがたま制作 工芸を学び、やすったり磨いたりする工程を学ぶ
	3月	工芸 まがたま制作 工芸を学び、やすったり磨いたりする工程を学ぶ

4 学習のポイント

1. A. B. C の基準

I 知識・技能

- A 作品・定期考査などにおいて8割以上達成している
- B 作品・定期考査などにおいて5割以上達成している
- C 作品・定期考査などにおいて5割以上達成できていない

II 思考・判断・表現

- A デザイン案・作品・レポート・定期考査などにおいて8割以上達成している
- B デザイン案・作品・レポート・定期考査などにおいて5割以上達成している
- C デザイン案・作品・レポート・定期考査などにおいて5割以上達成できていない

III 主体的に学習に取り組む態度

- A 作品制作および提出状況・定期考査などにおいて8割以上達成している
- B 作品制作および提出状況・定期考査などにおいて5割以上達成している
- C 作品制作および提出状況・定期考査などにおいて5割以上達成できていない

2. 学習を進めていく上でのポイント

- ・興味を持って、一生懸命に取り組むこと。
- ・先生の説明しっかり聞くこと。作品の目的やねらいを理解してから作業を行うこと。
- ・授業の準備をしっかり行うこと。忘れ物をしないことはもちろん、自宅で何かを準備してくる場合もあります。
- ・後片づけをきちんと行うこと。けじめをつけ、指示がでたら速やかに片づけに入ること。
- ・提出物の期限を必ず守ること。
- ・説明を聞き、参考作品をしっかり見てから、自分自身で思いを巡らせたり考えたりして発想しましょう。
- ・気軽なアイデアスケッチをたくさん描いてみる。形にしないとアイデアは膨らみません。
- ・制作の段取りや順序を考え、自分なりの計画をつくること。
- ・道具や材料について正確な知識を持ち、正しく使うこと。その上で自分なりの工夫を重ねましょう。丁寧にこつこつと仕上げるのが制作の基本です。
- ・自然や身のまわりのよさや美しさがわかることは、人生を豊かにします。人々が築いてきた文化についてもできるだけ多く触れていきたいものです。それらを受け入れる柔らかい心を持つことが、鑑賞の能力です。
- ・また、感じとったことを会話や文章、写真などで人にわかりやすく伝えられるかどうか、鑑賞の能力と考えます。

第2学年 美術科 年間指導計画 評価計画

1 教科の目標

- | |
|--|
| (1) 自然や身のまわりのものの美しさやよさに目を向け、表現方法や素材などに興味を持つ
(2) 具体的な技法の習得により、描写力や表現力の基礎を身につけ、意欲をもって制作ができるようにする
(3) 夢や目標を持って、構想をし、手順を考え、根気強く取り組み、創作活動の楽しさを味わうことができる
(4) 集中して観察する態度を身につけ、深くものを見つめたり考えたりできるようにする
(5) 鑑賞の喜びを一層豊かに育てるために、自分の想いを言葉で表現したり、語り合ったり、批評しあったりできる |
|--|

2 評価の観点・規準・材料

評価の観点	評価項目 (評価規準)	評価材料・評価場面
I 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 様々な作品や文化、友達の作品について、そのよさを味わおうとしているか 各課題の目指すものを理解し、素材や表現方法の特質を活かした発想、構想ができるか 道具の使用法や材料の特性を理解し、基礎的な技法を身につけ、根気強く丁寧に作業に取り組むことができるか 色や形の持つ効果を踏まえ、作品の完成に向け創意工夫することができるか 感じたことを、自分の言葉で具体的に表現し、他に伝えることができるか 	授業への取り組み 授業準備 資料集め 作品提出 レポート 定期考査
II 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に表現や技法の習得に取り組んでいるか、また楽しく生き生きと表現しているか 様々な作品や文化、友達の作品について、そのよさを味わおうとしているか 作品の提出期限を考えながら効率よく作業しているか 各課題の目指すものを理解し、素材や表現方法の特質を活かした発想、構想ができるか 色や形の持つ効果を踏まえ、作品の完成に向け創意工夫することができるか いろいろな作品や身のまわりのものを注意深く観察し、そのよさや美しさを感じ取ることができるか 感じたことを、自分の言葉で具体的に表現し、他に伝えることができるか 	授業への取り組み 授業準備 資料集め 作品提出 レポート 定期考査
III 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に表現や技法の習得に取り組んでいるか、また楽しく生き生きと表現しているか 様々な作品や文化、友達の作品について、そのよさを味わおうとしているか 授業の準備や心構えができているか、作品を期限内に提出しているか 色や形の持つ効果を踏まえ、作品の完成に向け創意工夫することができるか いろいろな作品や身のまわりのものを注意深く観察し、そのよさや美しさを感じ取ることができるか 	授業への取り組み 授業準備 資料集め 作品提出 レポート 定期考査

3 年間指導計画

学期	月	単元
一学期	4月	ロゴマークとデザイン プリント学習
	5月	デザイン 自分の店をプロデュース 第1弾 ウェルカムボードをデザインする
	6月	デザイン 自分の店をプロデュース 第1弾 ウェルカムボードを彫刻刀で彫る→やる
	7月	デザイン 自分の店をプロデュース 第1弾 ウェルカムボードを着彩する
二学期	9月	彫塑 自分の店をプロデュース 第2弾 紙粘土で商品制作をする
	10月	彫塑 自分の店をプロデュース 第2弾 紙粘土で商品制作をする→ディスプレイする
	11月	伝統工芸について学ぶ プリント学習 工芸 きめこみ鞠のデザイン→デザインを考える→制作
	12月	工芸 きめこみ鞠のデザイン→デザインを考える→制作
三学期	1月	工芸 きめこみ鞠のデザイン→デザインを考える→制作
	2月	版画 曼荼羅のデザインを学ぶ 曼荼羅のデザインを考える→スタンプハンカチの制作
	3月	版画 曼荼羅のデザインを学ぶ

4 学習のポイント

1. A. B. C の基準

I 知識・技能

- A 作品・定期考査などにおいて8割以上達成している
- B 作品・定期考査などにおいて5割以上達成している
- C 作品・定期考査などにおいて5割以上達成できていない

II 思考・判断・表現

- A デザイン案・作品・レポート・定期考査などにおいて8割以上達成している
- B デザイン案・作品・レポート・定期考査などにおいて5割以上達成している
- C デザイン案・作品・レポート・定期考査などにおいて5割以上達成できていない

III 主体的に学習に取り組む態度

- A 作品制作および提出状況・定期考査などにおいて8割以上達成している
- B 作品制作および提出状況・定期考査などにおいて5割以上達成している
- C 作品制作および提出状況・定期考査などにおいて5割以上達成できていない

2. 学習を進めていく上でのポイント

- ・興味を持って、一生懸命に取り組むこと。
- ・先生の説明しっかり聞くこと。作品の目的やねらいを理解してから作業を行うこと。
- ・授業の準備をしっかり行うこと。忘れ物をしないことはもちろん、自宅で何かを準備してくる場合もあります。
- ・後片づけをきちんと行うこと。けじめをつけ、指示がでたら速やかに片づけに入ること。
- ・提出物の期限を必ず守ること。
- ・説明を聞き、参考作品をしっかり見てから、自分自身で思いを巡らせたり考えたりして発想しましょう。
- ・気軽なアイデアスケッチをたくさん描いてみる。形にしないとアイデアは膨らみません。
- ・制作の段取りや順序を考え、自分なりの計画をつくること。
- ・道具や材料について正確な知識を持ち、正しく使うこと。その上で自分なりの工夫を重ねましょう。丁寧にこつこつと仕上げるのが制作の基本です。
- ・自然や身のまわりのよさや美しさがわかることは、人生を豊かにします。人々が築いてきた文化についてもできるだけ多く触れていきたいものです。それらを受け入れる柔らかい心を持つことが、鑑賞の能力です。
- ・また、感じとったことを会話や文章、写真などで人にわかりやすく伝えられるかどうか、鑑賞の能力と考えます。

第3学年 美術科 年間指導計画 評価計画

1 教科の目標

<p>(1) 自然や身のまわりのものの美しさやよさに目を向け、表現方法や素材などに関心を持つ</p> <p>(2) 具体的な技法の習得により、描写力や表現力の基礎を身につけ、意欲をもって制作ができるようにする</p> <p>(3) 夢や目標を持って、構想をし、手順を考え、根気強く取り組み、創作活動の楽しさを味わうことができる</p> <p>(4) 集中して観察する態度を身につけ、深くものを見つめたり考えたりできるようにする</p> <p>(5) 鑑賞の喜びを一層豊かに育てるために、自分の想いを言葉で表現したり、語り合ったり、批評しあったりできる</p>

2 評価の観点・規準・材料

評価の観点	評価項目（評価規準）	評価材料・評価場面
I 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な作品や文化、友達作品について、そのよさを味わおうとしているか ・各課題の目指すものを理解し、素材や表現方法の特質を活かした発想、構想ができるか ・道具の使用法や材料の特性を理解し、基礎的な技法を身につけ、根気強く丁寧に作業に取り組むことができるか ・色や形の持つ効果を踏まえ、作品の完成に向け創意工夫することができるか ・感じたことを、自分の言葉で具体的に表現し、他に伝えることができるか 	授業への取り組み 授業準備 資料集め 作品提出 レポート 定期考査
II 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に表現や技法の習得に取り組んでいるか、また楽しく生き生きと表現しているか ・様々な作品や文化、友達作品について、そのよさを味わおうとしているか ・作品の提出期限を考えながら効率よく作業しているか ・各課題の目指すものを理解し、素材や表現方法の特質を活かした発想、構想ができるか ・色や形の持つ効果を踏まえ、作品の完成に向け創意工夫することができるか ・いろいろな作品や身のまわりのものを注意深く観察し、そのよさや美しさを感じ取ることができるか ・感じたことを、自分の言葉で具体的に表現し、他に伝えることができるか 	授業への取り組み 授業準備 資料集め 作品提出 レポート 定期考査
III 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に表現や技法の習得に取り組んでいるか、また楽しく生き生きと表現しているか ・様々な作品や文化、友達作品について、そのよさを味わおうとしているか ・授業の準備や心構えができているか、作品を期限内に提出しているか ・色や形の持つ効果を踏まえ、作品の完成に向け創意工夫することができるか ・いろいろな作品や身のまわりのものを注意深く観察し、そのよさや美しさを感じ取ることができるか 	授業への取り組み 授業準備 資料集め 作品提出 レポート 定期考査

3 年間指導計画

学期	月	単元
一学期	4月	やきものについて 長崎の工芸品について プリント学習 曼茶羅デザインを学ぶ
	5月	工芸 スクラッチ皿の曼茶羅デザインを考える
	6月	工芸 スクラッチ皿を削る
	7月	工芸 スクラッチ皿を削る
二学期	9月	ポップアート プリント学習 <デザイン> ハイコントラスト 下描き
	10月	<デザイン> ハイコントラスト 下描き→着彩
	11月	<デザイン> ハイコントラスト 着彩
	12月	<デザイン> ハイコントラスト 着彩
三学期	1月	<工芸> 木彫スプーン 電のこでカットしていく
	2月	<工芸> 木彫スプーンの やする、削る

	3月	<工芸> 木彫スプーン 磨く
--	----	----------------------

4 学習のポイント

2. A. B. C の基準

I 知識・技能

- A 作品・定期考査などにおいて8割以上達成している
- B 作品・定期考査などにおいて5割以上達成している
- C 作品・定期考査などにおいて5割以上達成できていない

II 思考・判断・表現

- A デザイン案・作品・レポート・定期考査などにおいて8割以上達成している
- B デザイン案・作品・レポート・定期考査などにおいて5割以上達成している
- C デザイン案・作品・レポート・定期考査などにおいて5割以上達成できていない

III 主体的に学習に取り組む態度

- A 作品制作および提出状況・定期考査などにおいて8割以上達成している
- B 作品制作および提出状況・定期考査などにおいて5割以上達成している
- C 作品制作および提出状況・定期考査などにおいて5割以上達成できていない

2. 学習を進めていく上でのポイント

- ・興味を持って、一生懸命に取り組むこと。
- ・先生の説明しっかり聞くこと。作品の目的やねらいを理解してから作業を行うこと。
- ・授業の準備をしっかり行うこと。忘れ物をしないことはもちろん、自宅で何かを準備してくる場合もあります。
- ・後片づけをきちんと行うこと。けじめをつけ、指示がでたら速やかに片づけに入ること。
- ・提出物の期限を必ず守ること。
- ・説明を聞き、参考作品をしっかり見てから、自分自身で思いを巡らせたり考えたりして発想しましょう。
- ・気軽なアイデアスケッチをたくさん描いてみる。形にしないとアイデアは膨らみません。
- ・制作の段取りや順序を考え、自分なりの計画をつくること。
- ・道具や材料について正確な知識を持ち、正しく使うこと。その上で自分なりの工夫を重ねましょう。丁寧にこつこつと仕上げるのが制作の基本です。
- ・自然や身のまわりのよさや美しさがわかることは、人生を豊かにします。人々が築いてきた文化についてもできるだけ多く触れていきたいものです。それらを受け入れる柔らかい心を持つことが、鑑賞の能力です。
- ・また、感じとったことを会話や文章、写真などで人にわかりやすく伝えられるかどうか、鑑賞の能力と考えます。